

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

中小企業とCFO

(私の願望、若しくは希望)

ある方から話があって、銀行員を対象に発行される「CFO養成講座」の一部を執筆することになった。私如きを書けるだろうかという不安はあったが、折角の話であり有り難くお受けすることにした。先月末から取り掛かり始めたが、レポートを書くのと違って中々筆が進まない。とは云え、与えられた課題を果たすことは、私自身にとって意味あることだと考えている。その執筆を通じて学び直し、ひいては密かな願いであった「中小企業のCFOでありたい」という立場により近づけるのではないかと考えているのだ。

CFO(チーフ・ファイナンシャル・オフィサー)という言葉を見たことのある経営者が多いか少ないか判らない。英語の頭文字を結合させたものであるが、一般に「最高財務責任者」と訳されている。似た言葉にCEO(チーフ・エグゼクティブ・オフィサー=最高経営責任者)やCOO(チーフ・オペレーティング・オフィサー=最高執行責任者)があるが、近年我が国の企業にも経営者がCEOやCOOを名乗るケースが増えているのでご存知の方も多いと思う。要は欧米流の経営スタイルを表現するものと云っていい。

つい最近、日産の再建を担って評価の高まっているカルロス・ゴーンさん(COOだった)が、CEOを兼務し実体面でも日産の最高責任者となったと報じられたが、私には何故そうするのか判らなかつた。そもそもCEOやCOO、あるいはCFO、CIO(チーフ・インフォメーション・オフィサー=最高情報責任者)を一つの企業内に置くのは、この激しく動く時代の中で一人の人間が全ての役割を担うのは困難であり、役割を分けてそれぞれ責任を負った方が合理的だと云う考え方に根差しているものと考えていた。だから一人の人間がCEOとCOOを兼務するのは、企業統治の側面からはどうかと思ったのだ。

話が外れてしまったが、日本でも経営の役割を分担分割する時代が到来し、その中で財務面の責任を担うCFOというものが注目され始めたのにはそれなりの理由がある。

出版社が銀行員向けに「CFO養成講座」を立

ち上げるのは、流動化する雇用環境の中で銀行員としていつまでも銀行に残れまいという揺れ動く心理を見込んでのことだと思うが、基本的にはCFOそのものを時代が求めていると認識しているからだと思う。CFO養成講座が一つの有力な事業になると踏んでいるからに違いない。

この養成講座に銀行員がどの程度参加してくるかに関心はないが、中小企業のCFOでありたいと考えてきた私とその一部を引受けるのも何かの縁であろうか。

では、その時代が求めている(と思う)CFOとはどんな存在なのか。

私は表向きCFOという言葉の口にしないようにしてきた。それはCFOが「最高財務責任者」と訳されているからである。「最高」という何とも大袈裟な言葉に抵抗を感じたからであるが、企業にCFOが必要であるという考え方そのものには共鳴してきた。

日本CFO協会によれば、CFOは「財務会計や管理会計及び金融分野に高度な知識や技能を持ち、企業価値創造へ向けての論理的かつ迅速な意思決定を行う企業人」だそうだが、私のように「高度な知識や技能」を持たない者には一寸抵抗を感じる定義である。とは云え、そのような役割を担う人間が企業に必要と思うのだ。

バブル崩壊後の10年は、中小企業においても、中堅企業・大企業とは違う意味でCFO的存在が必要であることを認識させた10年だった。

不動産担保を機軸に置いたメインバンク制の動揺、金融ビッグバンの進展、そして相次ぐ会計制度の変更等がその背景にあるが、そのような時代環境の激変の中で、従来は中小企業のCFOは他ならぬ取引銀行がその役割を担ってきた。しかしこの10年という時間の推移は、それが擬制のCFOに過ぎなかったことを明確にした。

中小企業にもCFO的存在は必要である。銀行がその役割を果たせなくなった今、私のような者の存在がそれなりの必要性を持つようになってきたのだと自認する。それが己惚れに過ぎないか、あるいは単なる一時期の幻影に過ぎないかはいずれ時が明らかにすると思うが、少なくとも銀行員自身がCFOを目指す時代となってきたことは注目していい現象ではないか。

私が書くものを銀行員が読む。妙な感覚をいただきながら鉛筆を舐めている最近である。

Weekly Fax Report

《複製・転載等はこちらご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

2001.7.7(第265号)

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/

Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp